

第24号 地域連携室だより

センター長のつぶやき

地域医療センター長 八木下 敏志行

今年も暑い夏になりました。

今年も熱中症で搬送される患者さんがいます。高齢者の場合、今でも冷房嫌い、トイレが近いので水分を控えてしまうなどの問題があります。さらに冷房や水分摂取を勧めても人の話を聞いてくれないこともあります。熱中症は予防が可能ですが、高齢者への対応は難しいところがあります。

学校訪問しました



↑ 7月1日君津市立周西中学校にお邪魔しました。

「喫煙が心身に及ぼす影響を学ぶとともに、誘われても断ることができる意志を持てるようにさせたい」との目的から「喫煙について」呼吸器外科の飯田智彦医師の講演を開催しました。

生徒さんたちは真剣な面持ちで傾聴しておりました。

この講演は出前講座の一環として実施しておりますが、学校側からの講演依頼は年々増えており、病院と学校の連携は強化されています。地域連携室としましても若年層への啓発活動は重要と考えておりますので、ご連絡をお待ちしております。



↑ 「歯磨き教室」 君津市立中小学校

↑ 「喫煙について」 富津市立富津小学校

「地域医療連携とは」・・・

今更ですが、この（君津）地域は医療従事者が少なく、医師は県内で下から2番目、看護師は県内で最下位と「医療資源」が乏しい地域です。この地域の住民が、他の地域と比べて、医療格差を受けないよう努力しなければならないのですが、すぐに、医療従事者を増やしていくことは厳しく、そう簡単なものではありません。地域住民が安心して医療を受けられるためには、地域の医療機関や関係機関などと協力してこの地域の医療を全体で支えていくしかありません。それに併せて医療従事者を増やすことを並行して、行っていくことなると思います。

当院への医療機関からの紹介件数については、地域医療支援病院の承認を受けている19施設中4番目に多い医療機関になります。これは、地域の医療機関が協力して、地域の医療を全体で支えていくことのためでもあり、地域住民の方々には自分にあった「かかりつけ医」を持つことの重要性が少しずつですが、理解され始めている結果と感じます。地域の医療機関や地域住民に支えられて医療連携が構築できることを肝に銘じて今後も進めてまいります。

『2019年度上総がんフォーラム』

2019年9月25日(水) 4階講堂 18:40～

国立がん研究センター東病院 薬剤部 出町 健先生

テーマ「免疫チェックポイント阻害薬の治療を安全に支援するために」

国立がん研究センター東病院 消化器内科 川添 彬人先生

テーマ「臨床経験から見えてきた胃癌治療に於けるニボルマブの課題」

予定しております。

『がんサロンのご案内』

がんサロンは、がん経験者やがん患者、ご家族が集まって情報交換や悩み、思いを話し合える場です。悩んでいるがん患者さん、ご家族にご紹介ください。

開催日 第3週金曜日 14:30から16:00

次回開催日 9月20日(金)

場所 2階患者図書室 対象 がん患者さん、ご家族（当院通院中の患者さんに限りません）

『病気と就労相談の窓口開設』

病気によって発生した労働問題、傷病手当金、失業手当受給、年金相談、病気と仕事の両立に悩んでいる、雇用者とトラブルになっているなどの相談窓口を開設しております。

毎月第1金曜日 13時30分から16時30分

社会保険労務士が2名で対応いたします。（無料）

お問い合わせは医療福祉相談室にお願いいたします。